



# 関西支部報

http://www.jackansai.com

## 関西学生山岳連盟のこと ～戦前編～

金井良碩

このたび、関西支部の設立80周年を迎えるに当たり、黎明期のころを調べてみると、さまざまなことが確認できた。関西支部は、日本山岳会創立30年後の昭和10年に設立されているが、それより以前の大正4年に関西学生山岳連盟(AAVK)が、大正13年にロッククライミングクラブ(RCC)がそれぞれ発足している。

平成元年に出版された『日本山岳会関西支部五十年史』によれば、関西支部発足を支えたのはこの二つの山岳団体であったことが記されている。RCCは、関西支部が出来たのを機に発展的解消して活動の場を関西支部に移行させ、RCC提唱者の藤木九三をはじめ、榎谷徹蔵、三木高峯らが活躍した。ただ、早世した加藤文太郎は余り登場しない。その後も長らく津田周二、水野祥太郎、中村勝郎らが関西支部を支えてきたのである。今日でも毎年9月末に、関西支部は大阪府山岳連盟、兵庫県山岳連盟との共催により、芦屋ロックガーデンの登山口である高座の滝前で「藤木祭」を開催して、その名残をとどめている。

また、RCCの名は、昭和33年に、藤木九三の子息である藤木高嶺を顧問とした第2次RCCに引き継がれて

いる。RCC IIは、ヨーロッパの3大北壁やヒマラヤの難関ルートに挑戦するなど、より困難な登攀を目指したグループで、現関西支部長の重廣恒夫は昭和48年のエベレスト隊に参加して、南西壁に挑戦している。

一方、関西学生山岳連盟はその後どのように展開したのか、その足跡をたどることとした。しかしながら、支部ルームに学生連盟の機関誌が見当たらない。かつて、学生連盟は関西支部に間借りしていたので、機関誌がないわけではないはずだが。そこで思いついたのは、山書の会の会員でもある金澤康夫会員である。金澤さんには以前、関西支部で住友山岳会について講演してもらったことがあった。その印象は、本を読んだ知識をもとに、あたかも自分で経験したかのように表現され、私はその時、この方は本でも山登りをされるんだなあと思った。すぐさま、電話を入れて「関西学生山岳連盟報告はお持ちですか」と尋ねた。「全部ありますよ」と即答され、「戦後の復刊号の編集者は新井浩さんで、絶版(休刊)となった最終号の編集者はあなたですよ」と述べられた。なにしろ50年ほど前のことで、私はその記憶さえなかったが、なんと深い造詣の持ち主なのかと感心した次第である。

### 夏季懇談会のご案内

恒例の夏季懇談会を下記の通り開催します。多数のご参加をお待ちいたします。

**日時** 8月26日(水)18時から  
**会場** ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス  
 電話 06-6374-1536

K2日本人初登頂：長編記録映画  
 『白き氷河の果てに』解説と上映  
**解説** 重廣恒夫氏(日本山岳会関西支部長)

講演終了後、講師を囲み懇親会を行います。(会費5千円)  
 同封の葉書に切手を貼って、8月19日までに届くお知らせください。

編集後記	22	自然保護行事	21	支部山行計画	20	ルーム日録	20	受贈一覧	19	新入会員	19	第8回委員会議事録	18	第7回委員会議事録	18	会務報告	18	平成27年度関西支部総会	14	スケッチ同好会の報告とご案内	13	ネパール大地震救援募金のお願い	13	自己紹介	12	浦上芳啓	11	秦 康夫	11	「本山寺山森林づくりの会」活動報告	10	支部山行報告	4	鹿田 勝	3	田島聖子	2	関西支部と私	2	平成27年度関西支部総会報告	1	金井良碩	1	関西学生山岳連盟のこと 戦前編	1
------	----	--------	----	--------	----	-------	----	------	----	------	----	-----------	----	-----------	----	------	----	--------------	----	----------------	----	-----------------	----	------	----	------	----	------	----	-------------------	----	--------	---	------	---	------	---	--------	---	----------------	---	------	---	-----------------	---

目次

すぐさま、天津市まで車を飛ばして5千冊の山書に囲まれた金澤さんの書齋を訪れたのは言うまでもない。

『関西学生山岳連盟報告』は、昭和5年に第1号が発行されている。『関西学生山岳連盟報告』の表題と「Annalen des akademischen Alpen-Verein, Kwansai」とドイツ語の標記がある。巻頭に「関西学生山岳連盟の目的とする處は各學校山岳團體間の連絡親睦を計り、山岳界諸先輩の後援指導を仰ぎ、統一ある自覺的行動、目的達成に必要な事業に依り新しき方面への活躍の準備を為し、アルピニズムの理想に邁進し、延いては日本山岳界全般の水準意識を高め些かなりとも斯界に対する貢献を為さんとするに在り」と、高らかに謳っている。そして「一九二九年六月二十三日 関西学生山岳連盟」と記され、その下に名を連ねている。すなわち、八高、三高、同志社大、岐阜高等農林、関大、関学、神戸商大、甲南高校、京都府立医大、京都帝大、浪速高校、大阪医大、大阪商大、富山高校の山岳部や旅行部の名が刻まれ、更にその下段にはその後の加盟校として、大阪工大、大阪高校、大阪薬専、富山薬専、名古屋高校、京都薬専、県立神戸高等商業、姫路高校の各山岳部名が記されている。

そして、編集委員として大阪薬専の水野祥太郎と京都帝大の伊藤愿の名が示されている。面白いことに、伊藤の編集後記に「表紙は神戸高工の中村勝郎君の手を煩わした」とあり、連盟に加盟していない神戸高工の中村に頼んでいるのはなぜか。伊藤は甲南高校の出身なので神戸時代にRCCの中村と親交があったのかも知れないが、建築学専攻の中村はデザインに優れた才能があり、山の

雑誌『ケルン』の表紙や挿絵なども手がけているし、ピッケルを上から見たデザイン図は神戸大学山岳会・山岳部の会報『山と人』の表紙を今なお飾っている。

この『報告』は昭和11年の第7号まで毎年発刊されたが、戦前の最終号である第8号は、3年の間隔をもって昭和14年に出された後、ついに休刊となり第二次世界大戦の影響を色濃くしていった。

『報告』では、南北の日本アルプスを中心に、北海道や東北の山々、時には台湾や朝鮮半島、樺太や北千島まで遠征した記録が克明に記録され、6号・7号では、浪速高校の今西壽雄により荒沢北俣から鹿島槍北壁登攀の様子が登攀ルート図を用いて報告されている。

これらの記事で特筆すべきは、イラストの素晴らしさである。写真では説明しがたい岩稜の様子などが見事に表現されている。また、巻末に広告をたくさん掲載していることである。好日山荘や美津濃など常連の運動具店はじめ、山小屋や旅館、鉄道会社、百貨店、薬品会社など多岐に渡る広告主を確保していたのは驚きだ。

各号の編集者の名を列举し、戦前の学生山岳連盟の面影をたどりたい。2号 藤田喜衛(京都帝大)。3号 田中伸三(神戸商大)。4号 本野亭一(京都帝大)。5号 西堀重雄(京都帝大)。6号 入江保太(同志社大)。7号 泉隆次郎(大阪商大)。8号 瀧川悠紀夫(京都帝大)の面々である。

戦後は、昭和32年に復刊第1号が刊行されているが、この後のことは次の機会にしたい。

(※ 文中、敬称省略)

## 平成27年度 関西支部総会報告

田島聖子

平成27年度日本山岳会関西支部総会は本年度もホテルグリーンプラザ大阪・アネックス5階に於いて4月22日(水)に開催されました。

金井副支部長の司会により、まず重廣支部長の挨拶があり、その中で「山の日」が予想より早く来年実施されるとのお話がありました。

引き続き議事進行に移り、第1号から第5号までの議案が各委員により説明・報告されました。関西支部設立80周年を迎える今年は様々な事業を控え、まず『日本山岳会関西支部八十年史』及び『近畿分水嶺踏査報告書』が5月末刊行予定であること、来年3月末出発予定の記念海外登山の準備のための隊員を中心とした「ヒマラヤ塾」、北アルプス西穂高岳での合宿等の説明がありました。又、5月30日の記念式典及び31日の記念山行には予

想を超えた参加の申込みがあり嬉しい悲鳴を上げているとのこと、喜ばしい限りです。

これらの記念事業の円滑なる遂行のため平成27・28年度の役員数を増やしたとのこと、特筆すべきはこの記念事業の募金額が既に目標の500万円に達したこと、ただこれに関しては重廣支部長の多大なるお骨折りがあったことが平林評議員・募金委員長よりあり、今後このような記念事業を行う場合の課題として提起されました。記念事業以外のことでは、自然保護の公益事業に関連して近畿中国森林管理局長と関西支部長の間で協定書の五ヶ年更新締結がなされたとのこと、又「支部報」は行事報告記事等の簡素化を図り、多くの会員からの原稿を掲載していくとの方針が報告されました。

各役員の懇切丁寧な説明のもとすべての議案が異議な



欲ある部員は個々に力を身に付け、JAC学生部や他大学に仲間を求め練習に励み、JAC学生部の遠征にも参加しています。1990年、部としてインドヒマラヤC B-14(6078m)に、上級生一人と私の二人の隊ですが、幸い成功しました。監督在任中に息子の匡志が入部してきました。部では主将として部員をまとめ、久々に関大らしい合宿

をしていました。私もこれからを期待していました。卒業してからは現副会長の黒川氏の会社に世話になり、支部長のツアーにも同行していると聞いていました。山の先輩方がおられる関西支部が、現役や若い岳人達の集会の場となり発展することを願っています。

2014/06/30受(会員番号8203)

## 支部山行報告

支部山行14-16 沢例会  
四国・名野川源流から筒上山

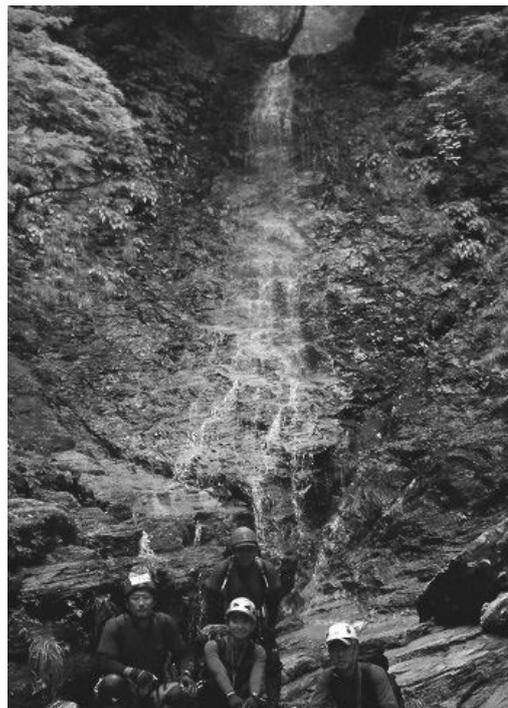
茂木完治

8月30日

吉野川源流は瓶が森に上がる白猪谷と手箱山へ上がる名野川に二分する。2013年は白猪谷を登ったので、今年の名野川にした。名野川は上流で三分し、左俣は手箱山へ、中俣は手箱越へ、右俣は岩黒山に突き上げている。中俣へは釣りで途中まで登ったことはあるが、上の方はよくわかっていないので中俣を登ることにした。この谷は思った以上に秀溪で、名花キレンゲショウマの群落もあり、満足のいく沢登りができた。

30日の朝、四国支部の面々と合流して名野川登山口へ行く。登山口から踏み跡を辿って右俣を渡り、斜面をトラバースして中俣に入った。しばらくは滑滝主体の気持ちの良い谷であった。廃棄林道を潜ると二俣になり、本流の左俣は急傾斜に岩が詰まった地形。それを越えると25mの直瀑布があった。左から巻いて谷に戻ると15m滝。右から巻くとさらに15mが続き合わせて巻いてしまう。大滝50mを右から巻く。谷は源流の感じがしてくる。四国支部の人たちがキレンゲショウマを教えてくれる。見れば一面キレンゲショウマの群落であった。おいしいことになりかなり散ってしまっていた。急峻なルンゼを登るとコンクリートの水場跡があり、じきに登山道が横切った。手箱越から筒上山1859mに登り、北の岩黒山との間の鞍部から名野川登山口に下った。

鷲尾山荘に戻り、高知の海の幸、溪の幸をごちそうになりながら鷲尾山岳会の方々と交流した。今回も鷲尾山岳会の方々には大変お世話になった。いつもお世話になる岡野正則氏とは、大阪へ帰る途中でお会いできた。再会を約束したのですが、今年の1月にご病気で逝去されてしまいお会いすることが適わなくなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



大滝50m 写真提供：茂木完治

### 【コースタイム】

30日 名野川登山口07:55—08:00中俣—09:30廃棄林道—11:20大滝下—12:05キレンゲショウマ群落—13:00手箱山登山道—13:25手箱越—13:55筒上山—14:55鞍部—16:40名野川登山口

### 【参加者】

辻和雄 茂木完治 (四国支部)尾野益大 長瀬美代子  
岩井賢助 計5名

支部山行14-19 関西支部県境縦走21  
但東越～鉄鉬山～夜久野トンネル～青垣町遠阪

山本義博

9月27日(土)晴

今回は、久方ぶりの宿泊施設利用であることと、1日だけの参加も可とのことで総勢15名がJR和田山駅に集

合、そこからジャンボタクシーで林道床尾線全通記念碑が立っている駐車場に向かった。天候は秋晴れの良い天気の中、参加者全員で準備体操の後出発、歩き始めは少し急な登りもあったが、よく踏まれた道を進み三角点(西谷)を少し進むと、前回の県境離脱点から稜線伝いに鉄鉦山に到着し昼食となった。登山道には栗のイガがたくさん落ちていたが、実はほとんど無く野生動物のエサとなっているようであった。

鉄鉦山を過ぎアップダウンを繰り返しながら、いろいろな色のキノコやかわいい花をつけているママコナ等のそばを歩いていくと今日の最後の登りに差し掛かり、それを越えると宿泊場所である夜久野荘に到着した。

**9月28日(日)晴**

今日は10名の予定であったが、1名が足の調子が悪くリタイア、9名での出発となった。出発時はこの地方の特徴である霧がかなり濃く出ていたが、しばらくすると霧も晴れて気持ちの良い天気となった。

宿からはキンモクセイが満開の庭を持つ家並みを抜けると登りとなった。最初の登りは急峻であったが、主稜線に出た後は緩いアップダウンの繰り返しであり、日向山などの三角点を過ぎると山姿の綺麗な栗原山を右手に見ながらの歩きとなった。三等三角点の深山で昼食をとり、しばらく進むと、碎石場入口付近からの急峻な細尾根に遭遇し、そこでウエストベルトを装着し、ロープを使った歩行となった。下りはそれほどでもなかったが、登りに入ると、浮石がゴロゴロした歩きにくいところを緊張しながら登った。それも一時間程度で通過し、その後は良く踏まれた道を進むと今回の最終地点である遠阪へ下る林道に到着した。ロープを結んで安全優先の行程が2か所あったので、予定時間よりは遅くなったが全員無事で、遠阪よりタクシーで福知山駅に出て解散となった。

**【コースタイム】**

27日 但東越11:20—11:47県境復帰点—11:59鉄鉦山—13:10P703—13:52三等岸山—15:17三等虫ヶ壺—16:05四等大町—17:01平野分岐—17:14宝山—18:18夜久野荘

28日 夜久野荘07:06—07:16県境復帰点—08:45小倉富士—10:09四等日向山—11:08遠阪峠分岐—11:33深山—13:24採石場跡入口—14:26P437—15:13トンネル峠—15:42遠阪

**【参加者】**

重廣恒夫 新本政子 黒田記代 辻和雄 宗実二郎 村田かおり 山本義博 (会友) 青木昭 黒岩敦子 (27日のみ) 清瀬祐司 久保和恵 高木稔 橋本圭之輔 松村文子 山内幸子) 27日計15名 28日計9名



4等三角点日向山に到着 写真提供：重廣恒夫

**支部山行14-21 ゆるやか山行【里山探訪】**  
**歴史と文化を訪ねる16**  
**葛城山系「屯鶴峯から二上山」**

魚津清和

**10月23日(木)晴**

出発時に参加者の一人が南大阪線二上山駅で下車したとの連絡が入るが国道165号線沿いで合流。穴虫峠方面の道路に沿って屯鶴峯に向かう。屯鶴峯は、過去二上山の火山活動によって隆起した凝灰岩が風と雨で浸食されて奇岩群となった標高154mの岩山で、遠くから眺めると松林に多くの鶴が屯(タムロ)しているように見られることから「屯鶴峯」(どんづるぼう)と名付けられたそうだ。また、屯鶴峯から槇尾山までを結ぶ自然歩道ダイヤモンドトレールの起点でも知られている。屯鶴峯取り付きから北に丘陵を登ると平地の向こうに白い岩肌の岩壁が南北に横たわっているのが見られる。登ると周辺の谷も全て白色凝灰岩で覆われ景色が一変、白亜の空間に入り込んだような奇景に目を奪われる。ピークを踏んで岩



奇岩群屯鶴坊 写真提供：魚津清和

伝いに屯鶴峯を下り穴虫峠を越え二上山登山口から雌岳を目指す。いきなり丸太階段の急登が待ち構え、小さなピークの登り下りを繰り返して雌岳山頂に到着。山頂からの眺めは素晴らしく東に大和三山から遠く奥に繋がる連山や南に岩橋山、大和葛城山、金剛山等々が見て取れ中谷氏の説明も加わり暫し山座同定を楽しむ。大和三山は、今年1月の例会山行で天香久山から畝傍山に向かう途中、突然の激しい雨に遭い畝傍の駅に避難した事が懐かしく思い出される。記念撮影後は馬の背に下って雄岳に登り返す。中腹からは巻き道を辿って大津皇子墓に向かう。紛らわしい分岐と急な下りで後続グループとは携帯電話で所在地の確認を取りながら大津皇子墓ルートと小ピーク2座を含むルートに分かれて下山。二上神社口駅で合流し解散した。久しぶりの秋晴れ、目も心も癒される一日となった。

#### 【コースタイム】

近鉄二上駅09:33—10:17屯鶴峯取り付き—10:52屯鶴峯ピーク—11:25穴虫峠—11:30二上山登山口—12:06昼食12:30—13:14緑の鉄塔—13:33展望台—13:54雌岳14:20—14:25馬の背—14:33雄岳巻き道(分岐)—15:29P244.8—16:08近鉄二上神社口駅

#### 【参加者】

久保和恵 山内幸子 新井浩 魚津清和 浦上芳啓 金井健二 戸島泰三郎 中島隆 中谷絹子 野村哲夫 橋本圭之輔 平井一正 松波幹夫 宗實慶子 (会友)秋月修次 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 横山規江 (会員外)木村早苗 計21名

#### 支部山行14-28 ゆるやか山行【里山探訪】

歴史と文化を訪ねる19

#### 竜門山系 多武峰から御破裂山・談山神社

久保和恵

#### 1月22日(木)曇のち雨

談山神社で安全と健康祈願をと思っていた新年山行でしたが、不運なことに近鉄奈良線が踏切事故のため不通、京都方面の方々は出掛けた途中で足止めされてしまった。31名が23名で出発。多武峰バス停から県道37号線を南に進む。新鹿路トンネルの右の旧道に入る。新しくなった注連縄をくぐり、歩を進めると鹿路トンネル手前に細峠と竜在峠の標識がある。竜在峠に取り、20分ほどで竜在の辻へ出た。そこから大和と吉野の境界で分水嶺でもある竜在峠まではピストンし、今にも降り出しそうな中、急ぎ冬野に向かう。冬野の村は十数個の家屋がある

も住まいは3軒ほどというが、手入れの行き届いた美しい村である。ここには多武峰宮内庁三角点がある。その奥の波多神社の軒下を借り、雨を凌いで昼食を済ませた。その後西大門跡から御破裂山へ。

藤原鎌足墓所で森沢さんにミニ歴史講話をして頂いた。そののち、やり過ごして来た三角点(四等点名破裂山)を求めて山中に入り確認。かたらい山はパスし、談山神社に下る。拝殿で祈願し、境内は素通りして受付を出た。折角だからと参道を下り多武峰バス停へ。参道入り口の屋形橋でバス待ち時間、差し入れて頂いたお酒で新年を祝った。雨天でゆっくりできなかったものの、全コース通して道が良かったのが幸いでした。



西大門跡から御破裂山へ 写真提供：中島 隆

#### 【コースタイム】

多武峰バス停09:48—10:32 竜在峠登山口10:53—11:14竜在ノ辻—11:21竜在峠—竜在ノ辻 11:34—12:11冬野12:45—13:08西大門跡—13:37御破裂山山頂13:43—13:50四等三角点(点名破裂山)—14:18 談山神社—14:38屋形橋15:25—15:28多武峰バス停

#### 【参加者】

山内幸子 新井浩 魚津清和 浦上芳啓 薦田佳一 阪下幸一 戸島泰三郎 中島隆 橋本圭之輔 松上美代子 松波幹夫 宗實慶子 森沢義信 久保和恵 (会友)秋月修次 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 (会員外)新井幹子 木村早苗 播戸日出夫

計23名

#### 支部山行14-33 関西支部県境縦走25

#### 三春峠～鹿倉山～高ツク山～川阪分岐

松村竹次郎

#### 1月24日(土) 晴

黒井駅からタクシーで三春峠へ。雪の林道を予想し、

車は三春峠の手前まではずだった。しかし厳冬期だと言うのに山は春模様。皆の思いを裏切り？一気に前回の終了地、三春峠へ到着。藪はさほど酷くなかったが獣除けの金網があちこちで延々と続く。鹿倉山山頂での休憩時、重廣さんから北東の方角を指さし「皆さん、あの向こうの山々から我々は歩いて来たのですよ…」と、かつて歩いて来た事を言われ一同感心する。長かった金網沿いの県境もやっと終わり立岩の県道に出て一日目が終了。この夜の宿、草山温泉へ県道を15分ほど歩き到着。誰もが望む、お風呂と夕食に一日の疲れをいやす。

**1月25日(日) 晴**

朝の町は昨日に続きガスの中だ。宿のマイクロバスに揺られて前日の終了地・立岩へ。歩き初めでいきなり根曲り竹の猛烈な洗礼を受ける。昨日はここまで凄い竹藪はなかったのに…。そして今日も又金網が現れるのだ。まるで人間除けではないのか、と思わされるくらい、我々を苛めてくれる。その証拠か、獣の糞が金網の内外にあるのだ。前日、金網に悩まされたゴルフ場が今日は後方に見える。二時間も金網沿いを歩いただけに施設の大きさが良くわかる。昼食を挟んで、二度下降時にロープを使用。6本のロープが1本になり全員が繋がる。ここにして皆で力を合わせ踏査しているんだなあ実感する。前日林道歩きがなかった分、予定より先へ進むことになる。県道を横切りやがて高ツク山414.8mへ。ここからこの日、二度目のロープを繋ぎ、藪と岩の尾根を下降する。標高300mの川阪分岐で分水嶺を離れ、今回の踏査が終了する。谷筋を降り麓のバス停川阪下へ。ここから



岩場を越えて奥山へ 写真提供：重廣恒夫

暫く県道を歩き本郷バス停へ。ここで宿、迎いのバスに乗り篠山口駅へ出て解散となる。

**【参加者】**

重廣恒夫 山内幸子 新本政子 久保和恵 黒田記代  
前田正彰 松仲史朗 松村文字 宗實二郎 村田かおり  
山本義博 (会友)松村竹次郎 (会員外)立野里織

計13名

**【コースタイム】**

24日 三春峠09:19—10:51野瀬峠—12:18鹿倉山12:50—15:30鷹ノ巣山—16:21万燈山—17:03県道97号線

25日 県境復帰点07:48—08:25三郡峠—09:31奥山—13:14高ツク山—14:20県境離脱点—14:59川阪下—15:25本郷上バス停

支部山行15-34 4000山グランプリ  
**北総門山 (703.7m)、総門山 (948.6m)、南亦山 (982.0m)**  
立野里織

**2月7日(土)晴**

9時46分三瀬谷駅に到着。タクシーに乗り北総門山駐車場に向かう。林道が工事のため途中でタクシーを降車し30分ほど歩いて北総門山第3駐車場に到着した。色あせた枯葉の上を15分ほど歩いて北総門山に到着した。晴れており眺めが良い。二等三角点(蘭山)がある。北総門山からは整備された林道を30分ほど歩いて総門山登山口に到着。ところどころに積もっている雪はやわらかい。急な登りに、大汗をかきながら総門山山頂に到着した。三等三角点(伊丸谷)があった。ここで昼食。風はなく、暖かい。遠くに雪を冠った三峰山や高見山を見ながら、1時間ほど歩き南総門山(952m)へ。さらに扇沢の高(939m)から大内山村と宮川村の境界線に沿って南下し、いくつかの鉄塔と出会いながら千石越に到着した。千石越からは林道を30分ほど歩き、南亦山森林公園駐車場の近くにある沢で取水をした。その後、林道から東屋登山道に入った。ヒメシヤラ、シャクナゲ、アカシデ、ホオノキなど主だった木には小さな樹名札が付けられている。30分ほどで東西に走る尾根に上がり、東屋の近くにテントを設営した。夕方から、ポツポツと雨が降り出した。

**2月8日(日)雨**

朝4時起床。小雨が降っているが、思いのほか寒さを感じられない。東屋で雨具を着て尾根を西へ進み南亦山を往復する。暗がりの中、南亦山山頂に丸太で作られた展望台に到着した。一等三角点(南亦)は展望台の下にあ

った。東屋に戻って今度は尾根を東へ進む。1時間ほど歩いて大平谷の高(875m)へ到着し小休憩。ここからはシャクナゲの木々の中を南へ進み稜線を離脱した後、雨に濡れて滑りやすい急な下りが続く。露岩帯を慎重に通過した後、大滝に向かう。落差50mほどだろうかという大滝は薄暗い中で幽玄さを漂わせていた。大休憩した後、背の高い杉林の間を下り、小滝に到着。小滝の落差も大きい、大滝より水量が少ない。小滝から1時間ほど歩いて大内山駅に到着した。

#### 【コースタイム】

7日 北総門山第3駐車場10:55—11:09北総門山—12:40  
総門山13:08—14:03南総門山—15:25千石越—16:44テント  
サイト(東屋)

8日 テントサイト05:27—06:10南亦山—06:48東屋—07  
:42P875—09:12大滝—10:00小滝—11:04大内山駅

#### 【参加者】

重廣恒夫 野村珠生 松仲史朗 (会員外)立野里織

#### 支部山行14-31 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる20

#### 京都南部・三上山

橋本圭之輔

#### 2月19日(木)曇

今月の計画を頂いた時ははっきり滋賀県の三上山(みかみやま)とおもいましたが、よく見ると京都の山でした。こんな近くに同名の山があるとは全く知りませんでした。但し、読みは「さんじょうさん」です。調べてみたところ全国には岡山県岡山市の三上山(202mさんじょうさん)、山口県長門市の三上山(40mさんじょうやま)があります。ゆるやか山行昨年12月は雪。1月は雨と天候にめぐまれていませんでした。今日は曇り空で、時折陽がさすが小雨や雪がちらつくいまひとつの天気です。しかし、風が強くないので助かりました。

JR奈良線棚倉駅に集合。ウォームアップの後出発。計画時のルートは一度下って登り返すことになっていた、鳴子川を挟んだひとつ北側の尾根に行くことになった。よく踏まれたゆるやかな登り道を順調に進む。途中、四等三角点(207.7m 点名鳴子谷)を確認して3時間で三上山(473.3m 三等三角点)に到着。さすがに頂上では風があり展望台周辺で震えながらの昼食になった。頂上からの展望は360度にかけているが、今日の天気では見通しはいまひとつ。帰路は南方向に下り、鳴子川を渡って尾根をひとつ越すと海住山寺に至る。

海住山寺から車道を避け山道に入るとデ・レーケ堰堤に出会う。湖南の鶏冠山にあるオランダ堰堤もデ・ケーレが手がけた治山対策の堰堤だそうです。

この一帯は平城京から遷都された恭仁宮の跡である。今日参加されている内田さんは城陽市にお住まいで、この地域の歴史にお詳しく、海住山寺と恭仁宮について興味あるお話を聞かせて頂き大変参考になりました。まずまずの天気とゆるやかな登山道で山を楽しみ、歴史に触れることも出来たまさに歴史と文化を訪ねる「ゆるやか山行」でした。

#### 【コースタイム】

JR棚倉駅09:44—10:50P207.7—12:08三上山12:45—13:45  
海住山寺14:08—14:42恭仁宮15:14—15:39JR加茂駅

#### 【参加者】

久保和恵 山内幸子 新井浩 新本政子 魚津清和 内田嘉弘 内田昌子 浦上芳啓 薦田佳一 高村奉樹 野村哲夫 橋本圭之輔 秦康夫 平井一正 廣瀬健三 松上美代子 松波幹夫 宗實慶子 森沢義信 (会友)秋月修次 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 横山規江 (会員外)新井幹子 酒井恒明 播戸日出夫 計30名

#### 支部山行14-36 県境縦走26

#### 川阪下～板坂峠～雨石山～櫃ヶ嶽

青木 昭

#### 2月21日(土)晴

JR篠山口に総勢13名が集合した。3台のタクシーに分乗し、今回のスタート地点となる川阪下へ。準備運動の後、県境復帰点へと向かう。復帰点からは、事前に地形図を見て覚悟していたのだが、標高差150mの急登で幕開けとなった。しばらくは、心配していた小生の脚もシビレはあるもののいたって調子が良いので一安心。

稜線は、倒木が結構あるが歩きやすい。登りでは汗が噴出するが、天気も良く気温も4～6℃位で歩くには丁度良い。弓谷峠までは調子よく歩けたが、峠からの登り返し250mの急登で、ついに懸念していた大腿が悲鳴を上げた。「ツムラ68」を飲み、とりあえず痛みを押さえたが、その後連続して6袋も飲む羽目になり、ツムラで腹一杯となった。それでも先行グループに数分の遅れで、なんとか板坂峠に予定通り到着し、迎えのバスに乗ることが出来た。宿泊地の温泉で足の疲れを取り、牡丹鍋で鋭気を養い、明日に備え一番に布団にもぐり込んだ。

#### 2月22日(日)小雨後曇

朝食を摂り、今日の縦走を断念された2人に見送られバスで昨日降り立った板坂トンネル入口に向かった。出発時は降っていなかったが、バスが到着するころには小雨が降りだした。雨具を着てのスタートとなったが、気温も低く意外と快適である。稜線縦走は昨日とは違って変わって高速道路並みに歩きやすく、ハイスピードで雨石山～櫃ヶ嶽と予定より1時間以上も早く推移した。いつものように支部長の「この調子だと三国岳まで行った方が、きりがエエナー」という呟きが聞こえたが、笑ってごまかすしかなかった。

若い人たちが先頭に立つと、どうしても長老組と差が開いてしまう。途中からは支部長のすぐ後に橋本さんが歩く編成に変え、それで全員の足並みが揃ったおかげで、小生の心配していた脚は何事も起こらず何とか歩き通すことができた。終了予定の峠への下りは、忠実に稜線を通して降り立った。予定より早い到着であったが、なまじ三国岳に到達してもタクシーの手配が難しいので、予定通り園部駅へ向かうことにした。亀岡からのタクシーを待つ間に、また雨が降りだした。



今までの縦走路をバックに 写真提供：重廣恒夫

**【コースタイム】**

21日 川阪下08:49—09:15県境復帰点—10:47P437—11:33藤坂峠12:00—13:44弓谷峠—17:17板坂峠—17:23新道合流点

22日 旧道入口07:31—07:42県境復帰点—09:19雨石山—11:31櫃ヶ嶽12:20—15:16県境離脱点(レストラン四季亭)

**【参加者】**

重廣恒夫 山内幸子 新本政子 黒田記代 橋本圭之助 前田正彰 村田かおり (会友) 松村竹次郎 青木昭 (会員外) 立野里織 若林朋世 (21日のみ) 坂下幸一 宗實二郎 21日 13名 22日 11名

**支部山行14-37 五支部合同スキー山行  
護摩堂山 五支部山スキーに参加して**

安井康夫

五支部の山スキーが2月28日、白峰で開催された。今回は石川支部からも参加があった。

勝山市内から北上して石川県に入り宿舎の「御前荘」に到着する。途中で明日の取付点を確認。近くには取立山(1307.2m)があり、人気のある山域だ。宿に三々五々仲間が集まってきた。懐かしい顔、初めての顔、みなさんとても元気でいい顔をされている。16時から乾靖会員(福井)による「加越国境と白山の山スキー」の講演。氏は、勝山市内で白山山域を守る活動をされている。ご一緒したことがあるが若くてスキー技術は抜群。白山の魅力をつぶりと熱弁。明日の護摩堂山コース、昔は谷集落から多くの登山者で賑わったクラシックルートだそう。懇親会は時間の経過とともに皆さんの頬もゆるみ、一段と賑やかになって二次会へと移る。

翌朝は雨。協議の結果、登山は中止。山は雪にならない。みんなで白峰村内の観光を楽しむ。西林寺には廃仏顕釈令でたくさんの仏像が破壊される中、山頂にあった本地仏等8体を当時の住職の手でここに安置されている。加越国境の白峰村には大小の旧家が多く建っており、貴重な文化財として残っている。帰り道に勝山の県立恐竜博物館を見学。市内の杉山川で中生代白亜紀前期のワニ類化石が発見されたことが発端で2007年に開館した。山スキーは残念だったが、多くの仲間との再会、白峰村観光などを楽しむことができ、久しぶりに北陸の春を味わった。護摩堂山は手軽な山。もう一度訪れたい。

**【参加者】**

新本政子 井上達男 河野直子 阪下幸一 宗實慶子 宗實二郎 廣田猛夫 安井康夫 以上関西支部計8名 富山支部11名 石川支部1名 岐阜支部6名 京都・滋賀支部8名 総計34名

**支部山行14-38 4000山グランプリ  
越前甲(1319.6m)**

村田かおり

**3月7日(土)曇後雨**

えちぜん鉄道勝山駅よりタクシーにて登山口に向かう。R416を通り横倉の「あまごの宿」より約1.5kmの辺りで除雪車に阻まれ降車。凍った林道1km歩き、除雪作

業中の車両を横目にアイゼンをつけて北へ向かう。膝までの雪で思うように進まない斜面をスキーヤーが楽々と通り過ぎるのを羨ましく見送る。約1時間をかけ上部林道に合流。ここで輪カンに履き替え、遥か遠くの県境尾根を目指す。途中、スキーヤー2名とすれ違いが登山者はいないようだ。重たい雪に、トップを交替しながら支尾根に上がる。ここからは大日峠への斜面のトラバースを避け、左手の急な直登尾根をアンザイレンして慎重に主稜線に向かう。主稜線に出ると風が徐々に強くなり、越前甲到着時には風とガスで眺望もなかった。強い風を避け頂上より東側に尾根を約50m下り、斜面を踏みこんで整地し早々にテントに潜り込んだ。テント設営時に降り始めた雨はやがて曇から雪に変わった。

### 3月8日(日)曇

4:30起床、雨は止んだが風の強い朝だ。朝食後、テント内で装備を装着して出発準備する。本来ならば今日は大日山(1368m)往復の予定であったが、無理と判断し、昨日同様アンザイレンして尾根筋を慎重に下る。大日峠からの下りは気温が上がり、雪の状態は良くないが沢筋を下降することになる。足元に注意をしながら下っていたが、膝上までの腐った雪に幾度も足を取られる。800m付近で輪カンに替え、更に南下。雪に苦戦している傍で、雪の状態が悪いので引き返すというボーダー3名が颯爽と下っていく。下山中に13名もの団体の登山とすれ違いが、こんな遅い時間に雪の状態の悪い中で彼らはどこまで行くのだろうか。悪雪に難渋しながら、頂上から4時間以上かけて除雪終点の林道に戻って来た。あまごの宿まで約2.5kmを歩き今回の4000山は終了。事前にタクシーを予約していたので入浴に心を残しながら、敷地内を快く貸して下さった宿の方に感謝をして帰路についた。

### 【コースタイム】



越前甲山頂への急登

写真提供：重廣恒夫

7日 タクシー降車07:50—08:56「570m」地点—09:53「650m」地点10:10—16:44越前甲

8日 越前甲06:59—07:55直登尾根分岐—11:20「550m」地点—12:06あまごの宿

### 【参加者】

重廣恒夫 松仲史朗 村田かおり (会員外)立野沙織

計4名

### 支部山行14-35 ゆるやか山行「里山探訪」

歴史と文化を訪ねる21

西脇・丹波 白山・妙見山

薦田佳一

### 3月26日(木)快晴

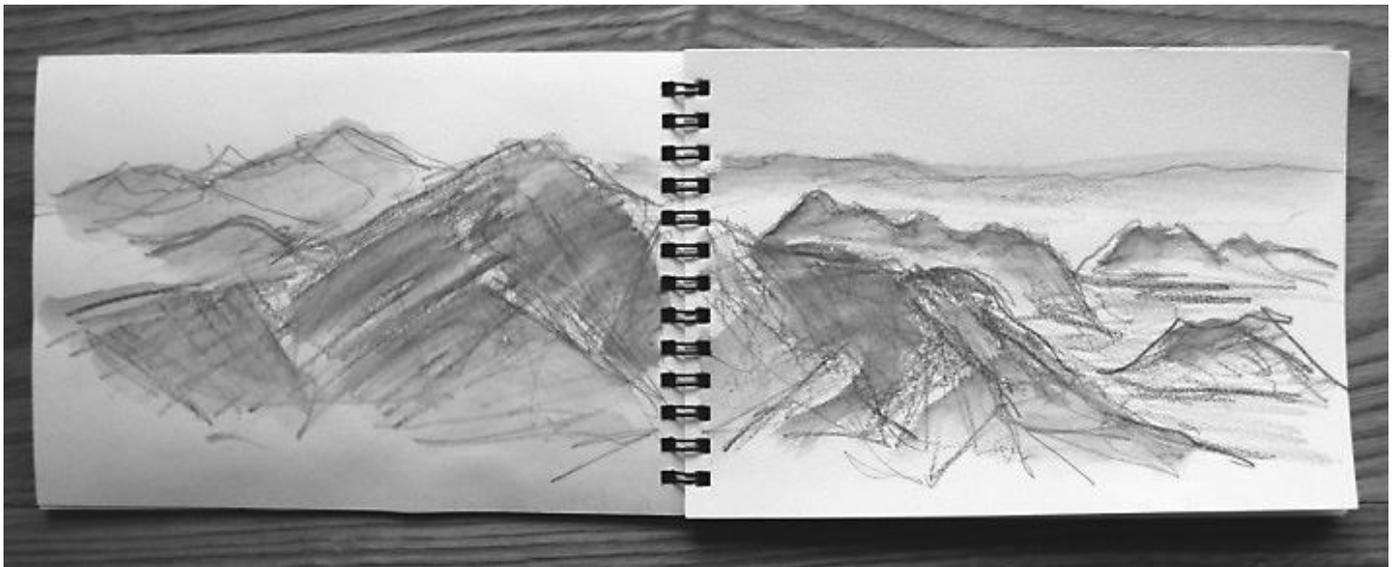
JR福知山線、車窓からの眺めはのどかな田舎風景がとても美しい。JR谷川駅でJR加古川線に乗り換え、JR本黒田駅で下車。ここは2014年NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」で黒田家ゆかりの庄であり、戦国の歴史とロマンに思いを馳せながら歩き始めた。黒田庄中学校のグラウンドのキャッチボールをする生徒達を眺めながら、登山口である大歳神社に到着。鳥居をくぐって境内で一休み。右手に登山口を示す看板があり「山頂まで約3.5km」とある。ゆっくり歩いて3時間ぐらいいかなと思い登山を開始した。

登り始めから急坂で、およそ150m上がると稜線に出た。左下方に黒田庄の里が見渡せて実に気持ちが良い。登山道は歩きやすく木々は少し新芽が出たところであった。又遠くには丹波の山並みが連なり、青い山脈の眺めがとても良い。白山頂上では麓に広がる景色や遠くに連なる山並みを眺めて楽しく昼食を取った。

再び妙見山に向かい山道を歩き始めた。途中珍しく「アカガシ」の樹々が現れ、楽しい思いをさせてくれた。麓の莊嚴寺を訪ねる時間を取る為、十字路から妙見山周遊ルートに変更して、妙見堂、まばお展望所、妙見山三角点を周遊し、十字路より下山開始。急坂の登山道を一気に下降して莊嚴寺法音院に着いた。重要文化財に指定されている多宝堂があるが時間の都合で取り止めて法音院辺りを散策した。この黒田は「土黒き以て名と為す」と記され一帯の田は黒い土だそうで、そこから名前が付いている。16時に本黒田駅に全員無事到着。楽しい山行有難うございました。

### 【コースタイム】

JR本黒田駅9:25—10:14大歳神社—11:13白山12:00—12:55十字路—13:37妙見堂—14:05まばお展望—14:24妙見山—



「青い山脈」スケッチ 薦田佳一

15:25荘厳寺—15:58JR本黒田駅

**【参加者】**

久保和恵 山内幸子 新井浩 魚津清和 浦上芳啓 薦田佳一 阪下幸一 戸島泰三郎 野村哲夫 廣瀬健三

松波幹夫 宗實慶子 森沢義信 (会友) 秋月修次 浅田博三 岐部明弘 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 横山規江 (会員外) 新井幹子 計15名



**「本山寺山森林づくりの会」活動報告**

秦 康夫

2015年1月8日(木)9:30~15:00

仕事始めに当たり先ず本山寺本堂で安全祈願を済ませ、午前は全員で林床整備の済んだ保安林を回り、枯れ枝の除去整理、伐り残した枯損木の伐採等を行った。午後は2班に分かれ、1班は今年の作業予定地を一通り巡視した。物置設置場所に通ずる道の頭上に、今にも落ちてきそうな太いアカマツの風倒木がある。2班はこれを処理することにした。直径30cmはある太い木で、なかなか厄介だったが、チェーンブロックやロープを使って引きずり落とし、なんとか処理できた。

小雪の舞う寒い日だった。正午の気温は0℃。

**【参加者】** 斧田一陽 宮本廣 薦田佳一 倉谷邦雄

秦康夫

計5名

2015年1月18日(日)9:30~15:30

作業区域のうち45林班「ろ4」地区は、数年前業者が伐り捨て間伐を行い、伐採した材はそのままの荒れた状態になっている。今年は伐り捨て材を片付け、林床整備をすることにした。

前夜の雪が薄く残り足場が滑り易いうえ、伐り捨て材も径の太いのが多く整理に時間がかかったが、適当な長

さに伐り揃え土留めの形にして処々に集積すると、林床は見違える程きれいになった。「に3」地区の一部で天然林の倒木処理も行い、併せて今回の作業面積は約0.4ha。

**【参加者】** 斧田一陽 薦田佳一 武田壽夫 黒山泰弘

須本淳史 秦康夫 丸山喜代司 小櫃徹夫 茂木完治 石原順子 計10名

2015年2月5日(木)9:30~15:00

午前中、前回に引き続き45林班「ろ4」地区の林床整備を行った。何本も折り重なったままの伐り捨て材が多く処理に苦勞した。作業場所周辺には、4本に株立ちした円周3.2mのアカガシや、直径50cm程の大きなヤマザクラもあり、整備が進めばこの辺りは格好の混交林になりそうだ。

午後、小雪の舞うなか、最近設置された鹿捕獲用「くくりわな」の設置場所確認に出かけた。今朝、駐車場から物置小屋へ向かった際、先着2名は物置近くで2頭の子鹿を見たとのこと。随所に樹木の皮を剥いだ跡や、鹿の嚙ったらしき痕跡もある。作業中に出会ったことはないが、相当数の鹿が生息しているようである。

**【参加者】** 斧田一陽 宮本廣 杉本佳英 秦康夫

計4名

## 2015年2月15日(日)9:30~15:00

前回整備の済んだ地点の上部から下部に向かって作業を進め、午前、午後の作業で比較的なだらかな斜面の整備は進んだ。谷に近づくにつれ斜面が急になり、足場の確保も難しくなる。谷まであと30m位を残して作業を切り上げた。今日は人数の揃っていたこともあり、0.4haほど整備できた。作業前とは段違いに明るくなった林床を見ると疲れを忘れて気分も明るくなる。頑張った作業した成果が目に見える形で現れるというのは楽しいものだ。

【参加者】 金井良碩 斧田一陽 小櫃徹夫 猪川誠  
丸山喜代司 須本淳史 福井誠 秦康夫 計8名

## 2015年3月5日(木)9:30~15:00

45林班「ろ4」地区の整備作業は今回で4回目になる。午前、午後で0.15~0.2haほど整備したが、終了まであと数回の作業が必要だ。横倒しになった間伐材を適当な長さに伐り揃えて土留めの形に積むのだが、地上に乱雑に倒れている木を伐るのはけっこう難しい。また間伐で立木を伐り倒す作業のような面白みにも欠けるが、作業後の林床は見違える程きれいになる。午前中、箕面森林事務所の久米村森林官が作業状況の確認に来られたが、最近の作業済区域を見て感心されてたとのこと。

数日前ククリワナでシカが2頭、ハコワナでイノシシが1頭、捕獲できたとの連絡あり。

【参加者】 宮本廣 薦田佳一 武田壽夫 斧田一陽

秦康夫

計5名

## 2015年3月15日(日)9:30~15:00

4名づつの2班に分かれて前回に引き続き間伐材・風倒木の整備作業。作業場所が急斜面で危険なため、先ず作業用の道を造ってから作業を始めた。間伐材は適当な長さに伐ってあるのが多いが、風倒木は厄介だ。直径20cm、長さ20数mの大きいのも数本あり、切断するのに一苦勞、土留め場所へ転がすのにも一苦勞で、けっこう汗をかいた。

【参加者】 宮本廣 福井誠 須本淳史 黒山泰弘 金井良碩 斧田一陽 武田壽夫 秦康夫 計8名



## 自己紹介

### 自己紹介と活動

浦上芳啓(会員番号:13528)

平成14年入会、写真班の例会山行に初参加!! 幼少の頃は山を駆けずり回って遊んでいましたが、本格的な事は無知な自分でした。登山に関しての必需品、技術等々沢山の事は入会後に経験をさせて戴き今に至っています。未知の世界・四季折々の自然に遭遇し感動と、感激。そして汗をかいて自力で頑張った分だけ達成感に癒された日々でした。

山に少し馴れ親しんだ頃(約2年後でした)、OLで山に全く経験のない友が「山を歩きたい」、「仲間に入れてほしい」と言い出し、山岳会には無理と判断の上でした。

私も一緒にとの条件付きで他の複数の方も誘い、近畿山岳愛好会に入会し、新しい活動も始まりました。その後、未熟なままに愛好会の理事を仰せつかり、リーダーとして山案内を受け持つ事に。月に1回以上の計画を立て下見山行を重ね来て、今日まで9年の月日が流れ、この間114回の例会山行案内を実行で、自身も驚いています。

私が山を目差した目的は、元気な内に健康と維持管理・二度と無い人生の源は健康が基礎と位置付けて、山岳会の山行、愛好会の例会、そして個人山行と合わせ、週一回以上を目差し頑張ってきました。今後共に、山岳会の皆さんや山友に支えられて、一日でも長く健康で元気に末永く楽しく、山旅が続けられたらと切に願う次第です。今後とも宜しくお願い致します。(2015/01/05受)

## ネパール大地震 救援募金のお願い

日本山岳会は4月25日に発生したネパール大地震に対し、日本の主要山岳団体と協議し、ネパールに縁のある方々や団体の義援金を「ネパール大地震救援募金」として、ネパールの被災者に直接届くようにする手段を講じることで合意いたしました。

このため、専用口座「日本山岳会ネパール大地震救援募金」を設けて、募金を集めることになりました。皆様の温かいご支援をお願いいたします。

口座番号： 00130-5-486550  
 加入者名： 日本山岳会ネパール大地震救援募金  
 通信欄： 会員番号、住所、氏名、電話番号

- ・1口2千円(2口以上は税額控除の対象になります)
- ・他行からの振込「振込先：ゆうちょ銀行」「店名：019(ゼロイチキュウ)店」  
「種目：当座」「口座番号：0486550」
- ・振込手数料等は、各自でご負担ください。
- ・税額控除を希望される場合は、別途寄付申込書をJAC ホームページよりダウンロードして事務局宛にご送付ください(郵便為替払込票を使用された方は不要です)。

※ 詳細は会報「山」5月号(No.840)をご覧ください。

## スケッチ同好会例会のご案内

### 【第7回】

日時 平成27年7月6日(月)10:30~15:00  
 行先 布引貯水池(徒歩50分 少々上りあり)  
 小雨の場合は展望台  
 集合 神戸市営地下鉄 新神戸駅改札口前 9:30  
 持ち物 画材(水彩を主とする)、カメラ、折りたたみ椅子、弁当、飲み物、日除け帽、雨具・傘など  
 申込み 6月26日(金)迄 横山規江  
 e-mail: inatyokoyama@ares.eonet.ne.jp  
 携帯090-7112-1658

電話0745-74-5488

\*雨天中止

\*当日の詳細は参加者に別途通知

### 【第8回】

日時 平成27年9月7日(月)11:30~16:30  
 行先 城山公園(若狭高浜公園から徒歩20分)  
 海に浮かぶ若狭富士(青葉山)や明鏡洞  
 集合 JR若狭高浜駅 11:30  
 持ち物 画材(水彩を主とする)、カメラ、折りたたみ椅子、弁当、飲み物、日除け帽子ほか  
 申込み 8月20日(木)迄 森沢義信  
 e-mail: ymorisawa2001@ybb.ne.jp

### 【第5回 飛鳥「甘檉丘」報告】

日時 平成27年3月23日(月)  
 参加者 野村哲夫 岩崎しのぶ 浦上芳啓 大塚和子 久保和恵 中谷絹子 森澤義信 横山規江 計8名



飛鳥「甘檉丘」より畝傍山を望む 画：中谷絹子

## 平成27年度(公)日本山岳会関西支部総会

平成27年4月22日(水)於 ホテルグリーンプラザ大阪 アネックス5階

### ◆次第◆

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

第1号議案 平成26年度活動報告(案)について

第2号議案 平成26年度会計報告について  
会計監査報告

第3号議案 平成27・28年度役員選出(案)

第4号議案 平成27年度活動方針(案)について

第5号議案 平成27年度予算(案)について

#### 3. その他報告事項

#### 4. 閉 会

部主催海外登山助成」への申請をおこなった。支部においても500万円の募金を目標に、平林評議員を委員長に「80周年記念事業募金委員会」を立ち上げ、支部の会員・会友、その他に寄付を要請している。

公益目的を対象とする事業では「登山教室(初級・中級・上級)」を実施し、延べ36回154名が参加した講習会をおこなった。山の日関連事業の「わんぱく探検」は6月1日に開催、22名の参加があった。自然保護事業においては、39名の会員を擁する「本山寺山森林づくりの会」が活動主体となり、自然環境の維持、回復を目指した活動を積極的に推進している。「東お多福山草原復元活動」では草原保全再生研究と現地での作業を重ね、着実に成果を上げている。

共益活動として、山行委員会は難易度の高い「4000山グランプリ」、健康登山をモットーとする「ゆるやか山行」を企画・実施した。図書委員会は「著者と語る会」の講演会、「蔵書を読む会」などの文化的活動に力を入れた。支部報編集委員会においては「支部報」に加えて『阿部和行前支部長追悼号(No.157号)』を発行したほか、『八十年史』『近畿分水嶺踏査』の編集に携わった。

支部活動の詳細は以下のとおりである。

#### 総務委員会

- ・総会 平成26年4月23日(水)18:30  
於 ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス 45名
- ・評議員会(平成26年度) 平成27年4月14日(火)15:00(総会議案審議)  
支部ルーム  
評議員5名 監事2名 事務局6名
- ・委員会 年8回
- ・夏期懇談会 平成26年8月27日(水)  
講演:南極とヒマラヤで学んだこと

講師:横山宏太郎会員

(No.8626岐阜支部)

於 ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス 53名(外6)

- ・新年会 平成27年1月28日(水) 梅田大東洋 47名(外3)
- ・藤木祭(第25回記念) 平成26年9月28日(日) 芦屋・高座の滝前 150名(大阪府・兵庫県岳連共催)
- ・拡大総務委員会 2回
- ・総務委員会 4回
- ・水曜会 10回
- ・スケッチ同好会 3回

#### [80周年記念事業関係]

- 『関西支部八十年史』編集会議 9回
- 『近畿分水嶺踏査報告』編集会議 80周年記念行事PJ 3回(他総務委員会時にも検討)
- 80周年記念海外山行PJ 7回
- 〃 ヒマラヤ登山塾 5回
- 募金委員会 3回

#### [会員動向]

新入会員8名 会員会友1名 支部会友4名

#### 山行委員会

##### 【公益事業】

- ・登山教室  
(初級)12回 延べ参加人数65名  
(中級)12回 延べ参加人数49名  
(上級)12回 延べ参加人数40名
- ・「山の日」関連行事「わんぱく探検」  
6月1日 むろいけ園地22名(子10・親9・サポート3)

##### 【共益事業】

- ・関西支部県境縦走12回延べ参加人数214名(会友20 外16)
- ・4000山グランプリ12回延べ参加人数158名(会友2 会員外20)
- ・ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる10回延べ参加人数222名(会友61 会員外18)
- ・沢例会 四国・吉野川源流 名野川5名(四国3)

### 平成26年度関西支部活動報告

平成27年、関西支部は設立80周年を迎える。5月30日に記念式典・記念フォーラム・31日に記念山行を挙げる予定である。従って、26年度は80周年記念式典の成功をめざし、支部を挙げてそれぞれの事業計画を推進した。

主な事業の一つ目は、『日本山岳会関西支部八十年史』・『近畿分水嶺踏査』の発行で、5月末刊行予定である。

二つ目の「関西支部県境縦走」は、平成25年1月より瀬戸内海から日本海への縦走に引き続き、26年3月より日本海久美浜から太平洋新宮に向け縦走を開始し、3月末現在大阪・京都府県境の深山を越えたところである。

三つ目の「80周年記念海外登山」は東ネパールカンチェンジュンガ山域のナンガマリⅡ峰(6211m)からⅠ峰(6547m)への縦走及び周辺踏査をおこなう計画で、平成28年プレモンスーン(3月下旬～5月下旬)に「日本山岳会関西支部東ネパール登山隊2016」を派遣する予定である。3月1日に日本山岳会110周年記念事業の一つである「支

- ・レスキュー講座  
座学 レスキュー 支部ルーム16名  
実地講習 蓬萊峡15名(会友2外5)
- ・海外山行 5月13日～5月18日 ロンボク島リンジャニ山(3725m) 9名(会友1外3)
- ・その他山行  
陽だまり山行 播磨の山-三重山 22名(会友3外2)
- ・山行委員会 1回

#### 自然保護委員会

#### 【公益事業】

- ・日本山岳会関西支部本山寺山の森  
森林づくり活動  
1/26 打合 京都大阪森林管理事務所2名、2/10 確認打合 箕面森林事務所1名、2/27 協定更新希望申請 27年度活動計画予定提出 京都大阪森林管理事務所1名、3/5 現地確認立会1名、3/23 26年度活動報告提出、3/25 協定更新  
〔活動主体「本山寺山森林づくりの会」会員39名〕  
4/1 森林・山村多面的機能発揮交付金申請(6/4採択) 大阪さとり地域協議会、4/15 総会10名、10/16 交付金施行地調査案内1名、12/20 里山保全シンポジウム2名、12/21 納山会11名、3/10 森林・山村多面的機能発揮交付金報告 大阪さとり地域協議会  
〔作業〕  
森林整備 活動日12日延べ参加者数114名、人工林 林床整備 活動日5日延べ参加者数37名、森林観察会・植生調査 活動日3日延べ参加者数25名、天然林除伐 活動日2日延べ参加者数18名、物置設置 活動日4日延べ参加者数27名、8/17 物置完成、その他 安全祈願・作業地巡視・倒木伐倒安全祈願 5名
- ・東お多福山草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会協働事業)  
ササ全面刈り2回6名、春・夏・秋の植生調査と施行地整備 延べ参加者数5名、打合せ会 神戸県民局会議室 7回7名

- ・やまみち保全巡視活動  
東お多福山登山道保全について神戸市森林整備事務所と打合せ、本山寺山森林づくり活動日に合わせて東海自然歩道巡視保全活動、東お多福山草原復元活動日に合わせて 登山道保全活動
- ・自然観察会  
森林観察会 本山寺山の森 2回24名  
春の上高地自然観察会13名
- ・その他  
大台ヶ原周回歩道補修現地検討会 大台ヶ原1名  
大台ヶ原自然再生10周年シンポジウム 奈良教育大学 大講堂1名  
大台ヶ原利用に関する協議会 川上村役場 1名  
富士山ガイドランス 梅田センタービル1名  
本山寺自然環境保全地域を考える協議会 本山寺可笑院4名

#### 【共益事業】

- ・第18回森の勉強会11/8～9(京都・滋賀、東海、関西 各支部自然保護委員会共催) 関西支部6名  
講演「森と水の関係」(東京大学赤津研究林所長 蔵治光一郎氏) 岐阜県土岐市八勝園湯元館  
現地観察 愛知県瀬戸市 東京大学赤津研究林 東海支部猿投の森
- ・全国自然保護集会(11/22) 広島1名、山岳平和祭 国際自然フォーラム(11/23) 1名

#### 図書委員会

- ・著者と語る会  
11月15日(土)大阪府立中央図書館大会議室 参加者25名(一般2)  
演題「沢登りの地平線-日本の谷から世界の谷へ」  
講師:成瀬陽一氏(海綿充血隊・海外遡行同人等会員)
- ・「蔵書を読む会」支部ルーム3回 延べ参加者数8名
- ・関西支部蔵書の整理 蔵書を読む会 当日実施
- ・寄贈図書受入れ 支部報に記載 支部編集委員会

- ・支部報刊行(A4判による刊行)  
発行 年5回155号～159号(内157号「阿部和行前支部長追悼号」11月)  
・編集委員会 年6回開催  
上記のほか、支部報編集委員は『八十年史』『近畿分水嶺踏査』などの80周年記念事業関連の編集に関わる

#### ホームページ

積極的な運用に関する委員会開催  
四国分水嶺踏査報告書の掲載、四国分水嶺踏査報告書2の掲載、近畿分水嶺踏査報告書の掲載、続近畿分水嶺踏査報告書の掲載、関西支部県境縦走踏査報告書の掲載、関西支部県境縦走踏査報告書2の掲載  
以上

### 平成27年度関西支部活動方針

平成27年、日本山岳会は創立110周年を迎え、関西支部は設立80周年を迎える。過去2ヶ年にわたって記念事業実施の準備を進めてきた。5月30日に記念式典を挙行、併せて記念フォーラム、祝賀会を開催し、31日に記念山行をおこなう。現在参加申し込みは170名で、関西支部会員、会員会友、支部会友及び他支部からも多数の会員の参加が予定されている。記念式典の実施まであと1ヶ月余り、滞りなく挙行できるように総力を挙げている。

80周年記念の主な事業として取り組んできた一つ目の、『日本山岳会関西支部八十年史』及び『近畿分水嶺踏査』は5月末刊行予定で進めている。二つ目の「関西支部県境縦走」は4月末には北摂の剣尾山から小和田山を通過し、さらに太平洋に向けての縦走を継続する。

三つ目の日本山岳会創立110周年・関西支部設立80周年記念事業の「80周年記念海外登山」は東ネパールカンチエンジュンガ山域のナンガマリⅡ峰(6211m)からⅠ峰(6547m)への縦走及び周辺踏査計画は、平成28年3月末出発まで1年を切った。参加予定隊員を中心として「ヒマラヤ登山塾」を開催

し、登山計画に基づいて遠征に向けた準備をおこなっていく。5月の連休には参加予定隊員の技術・体力の向上とチームワークの構築を目的として北アルプス西穂高岳周辺での合宿を実施する予定である。また、派遣支援の為の募金を継続する。

支部活動のうち公益目的とする事業の「登山教室」は初級・中級・上級の講座を継続し、能動的な行動がおこなえる登山者の養成に努める。山の日関連は子供たちに山の楽しさを知ってもらう「わんぱく探検」を予定している。

自然保護においては「社会貢献の森」における森林整備等の活動に関する協定が更新され、27年4月1日から5ヶ年、引き続き日本山岳会関西支部の森では、「本山寺山森林づくりの会」が活動主体となって、環境保全活動を推進するとともに活動の拡大を図る。東お多福山草原復元活動においても広く会員・会友に参加協力を呼びかける。

山行は難易度の高い「4000山グランプリ」・健康登山を推進する「ゆるやか山行」はシリーズとして継続する。

支部報は行事報告記事などの簡素化を図り、多くの会員からの原稿を掲載していく。重要課題の会員増強については、これからの山岳会のあり方も模索しながら、あらゆる機会を通じて新規会員の勧誘をおこなう。

各委員会の活動計画は以下のとおりである。

**総務委員会**

- ・会員の親睦と情報交換の場として、総会・夏期懇談会・新年会を実施 組織の充実を目指し、各種会議および各委員会活動の連携・効率化を図る
  - ・夏期懇談会：平成27年8月26日(水)開催予定「ホテルグリーンプラザ大阪アネックス」5階  
演題：「未定」 講師：未定
  - ・藤木祭(第26回)：平成27年9月27日(日)開催予定 芦屋高座の滝前(大阪府岳連、兵庫県岳連と共催)
  - ・新年会：平成28年1月27日(水)開催予定 梅田大東洋
  - ・総務委員会：隔月開催予定(拡大委員会含む)
  - ・80周年記念事業に関する準備会  
当日まで適宜開催予定
- [80周年記念事業関係]
- ・80周年記念式典・記念フォーラム・祝賀会 開催予定  
2015(平成27)年5月30日(土)14時30分開会 会場：ホテル北野プラザ六甲荘
  - ・80周年記念山行 2015(平成27)年5月31日(日)実施予定  
六甲山最高峰(931m)へ A班・B班・C班の3コース設定

- ・『日本山岳会関西支部 八十年史』5月末刊行予定
- ・『近畿分水嶺踏査』5月末刊行予定
- ・「80周年記念海外登山」2016年プレモンスーン(3月中・下旬～5月中・下旬)実施予定  
派遣準備のためヒマラヤ登山塾継続

**山行委員会**

**【公益事業】**

- ・登山教室(初級・中級・上級)の開催
- ・「山の日」に関連してのハイキング「わんぱく登山教室」の実施

**【共益事業】**

- ・日本海から太平洋へ約650kmにわたる「関西支部県境縦走」の継続、難易度の高い「4000山グランプリ」、「ゆるやか山行」の3本柱で、山行の充実を図り、幅広い層の参加者を得て、都市部以外の会員の掘り起こしと共に会員・会友の獲得に努める。
  - ・五支部合同スキー、沢登り、岩登り講習、四国支部との交流登山、海外トレッキング等の継続
  - ・事故対策については登山計画書提出と緊急カード携行の義務付けとセルフレスキュー講習継続
  - ・六甲山にて日本山岳会関西支部設立80周年記念山行の実施
  - ・年4回山行委員会の開催
- 活動計画の詳細
- ・登山教室 初級(六甲山系)・中級(六

**平成27・28年度関西支部役員名簿**

役職名	会員番号	氏名
支部長	7931	重廣恒夫
副支部長	6988	金井良碩
委員	6555	新本政子
委員	7971	高木 稔
委員	8203	斧田一陽
委員	8545	中谷絹子
委員	9012	阪下幸一
委員	9582	水谷 透
委員	9994	小寺佳美
委員	10336	宮川流太郎
委員	10380	山内幸子
委員	10594	野口恒雄
委員	10624	辻 和雄

**平成27・28年度関西支部評議員名簿**

役職名	会員番号	氏名
評議員	3915	藤木高嶺
評議員	4639	平井一正
評議員	4675	住吉仙也
評議員	5008	宗實慶子
評議員	5072	平林克敏
評議員	5262	桑田 結
評議員	5314	金井健二
評議員	5483	清瀬祐司
評議員	10353	城 隆嗣

- 甲山系の沢・上級(岩登りの初歩と沢登り)各年間12回(座学3回含む)
- ・山の日関連行事「わんぱく探検」(一般参加)1回
- ・4000山グランプリ12回 毎月1回
- ・関西支部県境縦走12回 毎月第4土日
- ・ゆるやか山行 10回(7、8月除く)
- ・五支部合同スキー 1回
- ・沢例会 2回
- ・セルフレスキュー講座(岩登りと雪山) 2回
- ・海外トレッキング 1回
- ・数回の一般山行

**自然保護委員会**

**【公益事業】**

- ・日本山岳会関西支部本山寺山の森森林づくり活動
- 近畿中国森林管理局長と「社会貢献の森」における森林整備等の活動に関する協定書を関西支部長と締結更新(期間平成27年4月1日～平成32年3月31日)平成27年3月25日京都大阪森林管理事務所に計画・報告提出 箕面森林事務所と現地活動確認

- 日本山岳会関西支部 本山寺山の森 標識設置
- 【活動主体「本山寺山森林づくりの会」**  
**会員39名]**  
 27年4月～28年3月 月2回活動
- 大阪さとり協議会 森林・山村多面的機能発揮交付金(3年度目)申請・報告  
 (活動内容) 交付金対象地8.5haを中心に
- ①巡視 弦きり 林床整備 枝打ち 枯損木処理 天然林整備 除伐 間伐
  - ②登山路、作業路 補修整備
  - ③チェーンソー講習会(労働安全特別講習含む)
  - ④カシノナガキクイムシ対策・鹿捕獲対策補助
  - ⑤森林観察会 2回
  - ⑥総会 理事会 懇親会 納会 安全祈願 会員募集
- ・東お多福山 草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会協働活動) 定例活動日 6回
  - 打合せ会 各2週間前の同曜日
  - 総会 5/13 神戸登山研修所

- 東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座(神戸県民局と共同主催)
- 予定 6/27 座学(公開講座 兵庫県中央労働センター)、8/9 観察会、10/3 模擬セミナー、10/12 模擬ガイド、11/28 まとめ
- ・やまみち巡視保全活動
  - 本山寺山森林づくり活動 東お多福山草原復元活動に併せて実施
  - ・自然観察会
  - 7月 川上村自然観察会、秋 本山寺山の森 森林観察会
  - ・環境省近畿地方事務所関係会議
  - 夏冬 大台ヶ原の利用に関する協議会 奈良市予定

**【共益事業】**

- ・第19回森の勉強会(関西、東海、京都・滋賀各支部自然保護委員会共催 東海支部担当)
- 10/24～25 京都・滋賀支部 嵐山周辺
- ・集会・委員会・その他
- 自然保護全国集会 7/11～12 東京多摩周辺
- 第9回森づくり連絡協議会 4/19 東海支部 瀬戸市東大演習林・猿投の

**平成26年度収支報告並びに平成27年度収支予算**

1. 一般会計収支報告(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	533,119	府岳連会費	15,000
本部運営交付金(200名)	200,000	借室費・集会費	626,356
本部事業補助金(200名)	300,000	通信費	100,169
入会金補助金(9名)	36,000	事務用品費	87,840
支部会費(当年度分)(128名)	395,500	支部報	627,030
支部会費(次年度分)(112名)	348,500	送金手数料	34,028
支部報告掲載料	120,000	旅費交通費	39,435
事業収入	1,067,000	事業費	1,172,033
受取利息	37	雑費	37,805
日本300名山原稿料	74,760		
支部図書販売費	1,000	特別会計繰越金	0
		次年度繰越金	336,220
<b>合計</b>	<b>3,075,916</b>	<b>合計</b>	<b>3,075,916</b>

2. 貸借対照表(平成27年3月31日現在)

収入の部		支出の部	
現金	24,286	剰余金	
銀行預金	260,184	内訳	
郵便貯金	51,750	(一般会計)	336,220
金銭信託	4,763,232	(特別会計)	4,763,232
		(ルーム運用金)	
<b>合計</b>	<b>5,099,452</b>	<b>合計</b>	<b>5,099,452</b>

3. 平成26年度一般会計収支予算

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	336,220	府岳連会費	15,000
本部運営交付金(200名)	200,000	借室費・集会費	630,000
本部事業補助金(200名)	300,000	通信費	95,000
入会金報奨金(10名)	40,000	事務用品費	50,000
支部会費(当年度分)(130名)	400,000	支部報	500,000
支部会費(次年度分)(110名)	350,000	送金手数料	30,000
支部報告掲載料	120,000	旅費交通費	30,000
事業収入	1,070,000	事業費	1,084,000
受取利息	50	雑費	40,000
		予備費	342,270
<b>合計</b>	<b>2,816,270</b>	<b>合計</b>	<b>2,816,270</b>

本日会計監査を行い、正確であることを認めました。

2015年4月14日

公益社団法人日本山岳会関西支部

監事 中島 隆 ㊟

監事 中村 久住 ㊟

森

支部自然保護委員会 適宜開催予定

**図書委員会**

- ・著者と語る会 11月14日(土)予定  
大阪府立図書館 演題・講師「未定」
  - ・蔵書を読む会 6/15(月)・夏・冬  
年3回予定 於支部ルーム
  - ・蔵書整理 蔵書を読む会当日・他、  
在庫の頒布も検討
  - ・寄贈図書受入れ 支部報に記載
- 支部報編集委員会
- ・平成27年度(2015年度)刊行計画 年

4回刊行

- ・編集委員会は締め切り日以降に最低  
1回は開催する
- ・締め切りの厳守
- ・その他  
広報関係の役割分担の明確化  
行事報告記事の簡素化  
多くの会員からの原稿を掲載予定

**ホームページ**

- ・山行報告の掲載
- ・80周年記念事業関連記事の掲載

以上





Room日録 2015年

1月28日(水)	80周年募金委員会	27日(金)	80周年募金委員会	4日(土)	八十年史編集打合せ
2月1日(月)	記念式典受付事務 〔2・4・5・8・11・12・18・ 19・24・25・27日も実施〕	3月1日(日)	第4回ヒマラヤ塾	5日(日)	第5回ヒマラヤ塾
4日(水)	水曜会	4日(水)	記念式典受付事務〔8・ 14・21・25・27日も実施〕	6日(月)	会計事務
5日(木)	80周年記念海外登山PJ	10日(火)	80周年募金委員会	7日(火)	拡大総務委員会 本山寺山森林づくりの 会
8日(日)	支部報編集委員会	11日(水)	支部報159号発送	13日(月)	理事会・総会 会計監査
11日(水)	第1回ヒマラヤ塾 〔15・28日も実施〕	18日(水)	八十年史編集打合せ	14日(火)	支部評議員会
23日(月)	蔵書を読む会	29日(日)	第8回支部委員会	15日(水)	水曜会
25日(水)	近畿分水嶺踏査報告書 編集会議 第7回支部委員会	4月1日(水)	記念式典受付事務 〔4・7・10・13・16・22・27 日も実施〕	18日(土)	募金受付事務〔22・29 日も実施〕
				22日(水)	支部総会準備
				29日(水)	支部報原稿受取

2015年7月～9月 支部山行計画

※申込先は、後のリストを参照してください【いずれも締切厳守】

15-13 4000山グランプリ 四国支部との合同山行

「讓ヶ葉森・音無山・大黒山・観音山・篠山」  
日 時：7月11日(土)・12日(日)  
コース：徳島＝讓ヶ葉森林道終点－音無山－讓ヶ葉森  
－大黒山－篠山－観音岳－林道終点＝徳島  
地 図：2.5万分の1「伊予岩松」「御内」「楠山」  
備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須  
80周年記念海外登山のトレーニング山行  
申込み：6月25日迄 家段勝好と重廣恒夫

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須  
80周年記念海外登山のトレーニング山行  
申込み：4月30日迄 重廣恒夫

15-14 関西支部県境縦走31

日 時：7月25日(土)・26日(日)  
コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください  
備 考：詳しくは申込者に連絡します  
申込み：7月10日迄に 黒田記代

15-16 関西支部県境縦走32

日 時：8月22日(土)・23日(日)  
コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください  
備 考：詳しくは申込者に連絡します。  
申込み：8月8日迄 黒田記代

15-15 4000山グランプリ 南アルプス深南部

「丸盆岳(2066m)～不動岳(2171.3m)～黒沢山(2122.8m)」  
日 時：8月13日(木)～16日(日)  
コース：水窪駅＝戸中ゲート－丸盆岳－不動岳－黒沢  
山－白倉権現ゲート＝水窪駅  
地 図：2.5万分の1「伊那和田」「池口岳」

15-17 沢例会

「滝畑サカモギ谷」  
日 時：8月30日(日)  
申込み：8月16日迄 茂木完治

15-18 4000山グランプリ 四国支部との合同山行

「大川嶺・笠取山・中津明神山・雨ヶ森・大野ヶ原」  
日 時：9月5日(土)・6日(日)  
コース：徳島駅(県道328)大川嶺登山口－大川嶺・笠  
取山往復(県道36)大野ヶ原往復(県道363)中  
津明神山・雨ヶ森往復＝徳島駅  
地 図：2.5万分の1「柳井川」「笠取山」  
備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須  
80周年記念海外登山のトレーニング山行

申込み：8月20日迄 家段勝好と重廣恒夫

**15-19 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる25**

「北摂 大野山」

日 時：9月24日(木)

コース：日生中央駅＝西軽井沢－水場－大野山－アル  
プスランド(岩めぐり)＝日生中央駅

地 図：2.5万分の1「福住」「木津」

備 考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く  
山行でコースを変更する場合があります  
歩行距離約8km 歩行時間約4時間

申込み：9月14日迄 久保和恵

**15-20 関西支部県境縦走33**

日 時：10月3日(土)・4日(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します。

申込み：9月19日迄 黒田記代

**ステップアップ登山教室 一般対象 募集中**

**1stステップ**

初級『地図とコンパスを持って六甲山を歩く』

7月7日(火) 鬼ヶ島～湯槽谷山～落葉山

8月18日(火) 地図とコンパスの使い方(座学)

9月11日(火) 古寺山～P629～記念碑台～地獄谷

東尾根

10月6日(火) 白水山～大平山～座頭谷～しるべ岩

**中級『沢歩き』**

7月16日(木) 裏地獄谷～ダイヤモンドポイント～  
石楠花谷

8月18日(火) 地図とコンパスの見方・使い方(座  
学)

9月17日(木) 三ツ下谷～石楠花谷山～双子山

10月22日(木) 七曲滝～百間滝～似以滝～白石谷～  
六甲最高峰

**上級『岩登り・沢の初歩・雪山の初歩』**

7月28日(火) 不動岩周辺

8月18日(火) 地図とコンパスの見方・使い方・沢  
登りの基礎知識(座学)

9月29日(火) 沢登り基礎技術 京都北山・毘沙門  
谷

10月27日(火) 沢登り基礎技術 高野山・弁天谷

**申込み先一覧**

家段勝好	e-mail: k-kadan@gb4.so-net.ne.jp
久保和恵	Fax: 079-565-0530 e-mail: unclertorys05-kazu@nifty.com
黒田記代	e-mail: kuroda@makino.kmu.ac.jp
重廣恒夫	e-mail: tsuneo.shigehiro@asics.com
茂木完治	Tel: 080-3103-6770 e-Mail: yib03510@nifty.com
山内幸子	e-mail: sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp

**2015年 7月～9月 自然保護行事**

**1 東お多福山ススキ草原復元活動**

・7月22日(火) 夏の植生調査と管理作業  
予備日：7月23日(木)

・草原生物多様性ガイド養成講座

6/27 講義、8/9 観察会、10/3 模擬セミナー、10/12 模擬ガイド、11/28 まとめ

※集合出発：阪急芦屋川駅 8時50分

**2 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)**

・7/2(木)、7/19(日)、8/6(木)、8/16(日)、  
9/3(木)、9/20(日) <中止の場合は、別途開催日設定>

・弦切り、枝打ち、除伐、林床整備、作業道整備など  
※集合：JR高槻駅北口アルプラザ前 9時50分

**3 自然観察会－奈良県川上村の多様な植物を訪ねる**

7月15日(木) 講師：木村全邦氏(森と水の源流館)  
川上村は、苔だけでも200種類以上自生している多様な植生豊かな山村です。川上村地域おこし協力隊の竹中雅幸会員の協力で、三之公川から明神谷を訪れます。  
※参加費 1,000円 定員15名(先着順)  
詳細は、別途申込み者に案内します。

**4 自然保護全国集会 7月11～12日 東京・多摩**

**5 第19回森の勉強会 10月24～25日 京都・嵐山**

詳細次号掲載

**問い合わせ・申込み先**

斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556/090-4037-4542  
※締め切り：自然観察会を除き一週間前まで

# ナカニシヤ出版

606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15 (税抜)  
TEL 075-723-0111 / FAX 075-723-0095

渡辺弘之著 神木や天然記念物など、市内約二百社寺の貴重な樹木を紹介。本書片手に四季折々の京都を散策しませんか？ 見やすいガイドマップ付。 18000円

## 京都神社と寺院の森

坂本龍太著 ブータンに憧れた一人の医師が、多くの人々の協力のもと始めた、地域に根ざす高齢者健診プロジェクトと心温まる交流の記録。 20000円

## 統一等三角点全国ガイド

一等三角点研究會 編著  
全国五百m以上の一等三角点について、大地震などによる緯度・経度・標高などの変動を最新データで改訂！ 547点の基本資料と写真、そして実際に辿った三角点までの登路を紹介。 20000円

登山案内 ◎山が動いた!!

## 一等三角点全国ガイド [改訂版]



浮田典良・加賀美雅弘・藤塚吉浩・呉羽正昭著  
ウィーン、ザルツブルグ、アルプスチロール地方の山岳観光はもちろん、ドナウ平原の町や村など、通常のガイド本では紹介されない穴場スポットも満載！ 知的好奇心溢れる旅へのいざない。 22000円

## オーストリアの風景

◎オーストリアを気軽に歩くガイドブック

最新刊

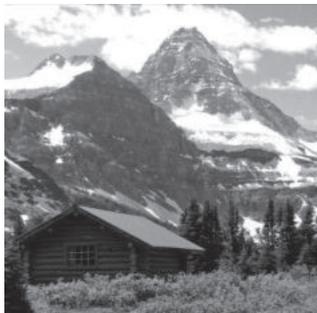
憧れのロッジに2連泊、ロッキーの絶景と大自然を満喫!

原野一面に咲き誇るお花畑を訪ねる季節限定ツアー

### アシニボイン・ロッジとロッキー・フラワー・ハイキング 8日間

出発日～帰着日	旅行代金 (大阪発着)
7/27 (月)～8/3 (月)	¥568,000

ロッキー秀峰Mt.アシニボインを目の前に望む絶好のロケーションに建つアシニボイン・ロッジで2連泊。周辺には高山植物が咲き誇り、静かな湖が点在する別天地です。エアカナダ・ルーシュの関西空港就航を記念した特別企画です。



▲ロッジからはMt.アシニボインが目の前

### 花の楽園ナマクワランドとウエストコースト国立公園、ケープ半島ハイキング 11日間

出発日～帰着日	旅行代金 (大阪発着)
8/31 (月)～9/10 (木)	¥548,000

驚異的とも言える規模でお花が群生する、南アフリカ西部のナマクワランドやウエストコーストの春。原野一面のお花を眺めながらハイキングを楽しみます。雄大な展望の喜望峰やテーブルマウンテンでのハイキングも楽しみです。



▲原野一面のお花畑の中ハイキング

—◇お知らせ◇—

#### 「ロングトレイル倶楽部」のご案内

世界を代表する“ロングトレイル”の名にふさわしい、各コースをご紹介するロングトレイル倶楽部。専用カタログをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

#### ◇—アルパイン・メイト・ポイントのご案内—◇

- 当社海外ツアーにご参加いただくと、旅行代金の1%にあたるポイントが帰国翌日に自動加算されます。
- 貯まったポイントは次回の割引やアウトドアグッズへ交換可能。
- 入会金や年会費、面倒な手続きなどは一切不要です。

「アルパイン・メイト・ポイント」の詳細はお問合せください。



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 © ボンド保証会員  
**アルパインツアーサービス株式会社**

大阪 06-6444-3033  
〒550-0003  
大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)

#### 〈編集後記〉

☆関西支部設立80周年を記念する集いは、支部員のみならず各地からも予想を超える会員が参集し、滞りなく行われた。二日目の記念山行も雨天の予報をくつがえし、快晴となった新緑の六甲山などを満喫した。この詳細は次号で伝えたい。

☆4月末にネパール中部を大地震が襲った。首都カトマンズはもとより、エヴェレストBCやランタン谷などにも大きな被害をもたらした。JACほか主要山岳団体は共同して救援の募金活動を行っている。13頁掲載の「救援募金」にご協力をお願いする。

(N)

発行日 2015(平成27)年6月17日  
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22  
梅田東ビル3階 304号室  
公益社団法人 日本山岳会関西支部  
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp  
郵便振替口座 00930-6-55950  
発行者 重廣恒夫  
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄 水谷 透  
制作 株式会社 双陽社  
大阪市北区堂島2-2-28